

令和1年度日本赤十字社診療放射線技師会 中国・四国ブロック研修会 報告書

日時： 2019年11月2日 14:00～17:00 11月3日 9:00～12:00
会場： 高知赤十字病院 大会議室
参加人数： 60名



《大会概要》

●研修会1日目

【会長講演】

『日本赤十字社の一員としてグループで取り組む』

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂



【災害特別講演】

『新築移転した高知赤十字病院における、南海トラフ地震対策』

高知赤十字病院 救急部副部長 山崎 浩史

『大規模災害時における放射線科の対応』

高知赤十字病院 放射線科部 高橋 健次郎

『看護師の視点から見た、災害時と戦傷外科の画像検査』

高知赤十字病院 救急救命センター看護師 丁野 美智



【災害医療支援部講演】

『国際救援活動における診療放射線技師の役割と現状』

日本赤十字社診療放射線技師会災害医療支援部 口井 信孝

●研修会 2 日目

【会員研究発表】

- ・『CT の技術進化が手術支援 3D 画像の image quality に及ぼす影響』
岡山赤十字病院 太田 翔也
- ・『Multi-Shot Turbo Spin Echo (MS TSE) を用いた Diffusion-Weighted imaging (DWI) における TR と pixel size の変化が Apparent Diffusion Coefficient (ADC) に与える影響』
岡山赤十字病院 吉岡 直之
- ・『当院における条件付き MRI 対応 CIEDs 入り患者の MRI 撮影の取り組みについて』
高松赤十字病院 野上 華代
- ・『門脈圧亢進症の門脈側副血行、肝臓体積(L)、脾臓体積(S)、S/L ratio 評価における系統的マルチ 3D-CT 構築の試み』
高知赤十字病院 白石 卓也

- ・『大動脈弁の石灰化量が TAVI 弁留置後に生じる PVL 量に及ぼす影響の検討』
徳島赤十字病院 山下 雄也
- ・『仰臥位低血圧症候群と下大静脈造影効果について』
松江赤十字病院 田代 真人
- ・『圧縮センシングの画像特性について』
高知赤十字病院 菊地 真司
- ・『当院における心電図同期心筋 SPECT 画像の撮影条件の検討』
高知赤十字病院 太田 裕司
- ・『放射線情報システム (RIS) への新システム移行と使用経験』
徳島赤十字病院 赤川 拓也
- ・『義歯アーチファクトによる頸部動脈描出不良の改善について』
鳥取赤十字病院 池原 準



【メーカー講演】

- ・『線量管理の動向と被ばく線量管理システム DOSE MANAGER について』
富士フィルムメディカル株式会社 IT ソリューション事業部開発部 五十嵐 昭人
- ・『求められる品質管理/求めるべきツール』
アクロバイオ株式会社 芳忠 寿一

【施設見学】

希望者で実施。

令和元年 11 月 2 日・3 日の 2 日間、高知赤十字病院 大ホールにて第 9 回 日本赤十字社 診療放射線技師会 中国・四国ブロック研修会を開催し、各施設より 60 名の参加がありました。

研修会初日は、まず日本赤十字社放射線技師会 安彦会長より会長講演として、診療放射線技師も日赤グループの一員として今後の活動における必要性を講演していただきました。続いて災害救護特別講演では、当院が今年5月に新築移転したタイミングもあり、当院の救急部副部長 山崎D r から来たる南海トラフ地震に対しての新築移転における病院構造・周辺地域との連携・対策について、当院所属の高橋診療放射線技師から当院放射線科の大規模災害への対応についての講演がありました。そして講演3では、当院救命救急センター所属 丁野N s より自身の国際救援活動での経験から災害時・戦傷外科の画像検査について講演がありました。大規模災害に対しては予想内での対策とはなりますが、免震耐震構造となっている部分や津波等の水害への対策が紹介でき、今後、病院新築移転する各施設の参考にしていただければ幸いです。

災害医療支援部講演では、口井氏よりご自身の診療放射線技師として国際救護活動に携わった経験を講演していただきました。災害救護特別講演3で講演いただいた丁野N s と災害医療支援部講演での口井氏の講演内容は、普段自分達で経験することのできない海外での活動の内容であり大変興味深く楽しい講演でありました。

研修会2日目は、各参加施設より10演題の会員研究発表から始まりました。MRI・CT・RI・RISなどの各モダリティ等に関する発表があり、各施設でそれぞれ日頃より実務に反映できる研究を行って、大変参考になる演題が多かったです。

研究発表のあとはメーカー講演が2社からあり、線量管理の動向や被曝線量管理システム、品質管理についての内容でした。来年の医療法改正に伴う、被曝線量管理・撮影装置の品質管理について大変参考になりました。

最後に、当院の施設見学を希望者で行い、今回の研修会は閉幕いたしました。2日間に渡り多くの会員に参加いただき、年代を越えた活発な意見交換・各施設の現状や今後の運営に対しての情報交換ができ大変有意義な研修会となりました。今回、ご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。

